



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 年度 国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク



3月29日(月)花見の会@とくなが中の瀬本店より

WEEKLY REPORT

Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

国際ロータリー第 2720 地区

熊本南ロータリークラブ

週報

例会日：毎週月曜日 12:30~13:30

例会場：〒860-8535 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日：昭和 33 年 9 月 1 日 (承認昭和 33 年 11 月 24 日)

会長：河津延雄 / 幹事 丸山浩之 / クラブ広報委員長 / 大津英敬



第18回例会記録(通算第 2859 回)

令和 3 年 (2021) 年 4 月 5 日

斉唱 国歌 君が代

ロータリーソング

「われらの生業」

来訪者紹介

杉田 成様 (杉田辰彦元会員令夫人)

会長報告 (河津延雄君)

皆さま、こんにちは。本日もご出席ありがとうございます。本日の来訪者と卓話者は千里殖産株式会社元顧問で熊本南ロータリークラブ第 32 代会長を務められた杉田辰彦元会員のご令室 杉田成様です。今日はよろしくお願いたします。会員の中には杉田元会長をご存じでない方もおられますので簡単にご紹介させていただきます。杉田元会長はニュースカイホテル副社長もされておられました。昭和 39 年 12 月 7 日に熊本南ロータリークラブに入会されています。現役メンバー入会歴では最古参の吉本栄一会員の 5 か月後の入会となっています。杉田元会員は 1989-90 年度に熊本南 RC の会長をされ、96 年度には地区のガバナー補佐も務められるなどロータリーの大先輩でした。私が入会した時には出席免除会員でしたので、例会等で数回お会いした位でした。残念ながら杉田元会長は令和元年 4 月に 90 歳でご逝去されています。

さて、本日卓話をして頂く奥様のご紹介です。生年月日は割愛させていただきます。熊本大学を昭和 37 年卒業後、文部省国立教育研究所の研究員を務められ、昭和 40 年には熊本大学体質医学研究所に勤務。昭和 43 年には大学とは畑違いの婦人自衛官第 1 期公募幹部として陸上自衛隊に入隊されています。

今日の例会

- 1 今日の歌
- 2 来訪者紹介
- 3 会長・幹事報告
- 4 外部卓話 永田壮一様 (PG/熊本城東 RC)

今月・来月の行事

- 4/18 2021-22 地区研修・協議会@Zoom
- 4/26 クラブ協議会④@ホテル日航熊本

その後昭和 49 年には海上自衛隊に転官し横須賀での婦人自衛官第 1 期公募海曹課程 分隊長、厚木の第 51 航空隊、横須賀での教育隊、電子業務支援隊勤務等を務められ幹部だった 2 等海佐の時、昭和 63 年杉田元会長とご結婚のため退職されています。現在は表千家の茶道教室や国際ソロプチミスト熊本 すみれクラブ会員としてボランティア活動をされています。今日は色々なお話が聞けると思います。よろしくお願い致します。

先週開催されました今年初の親睦会「花見の会」には会員 34 名の方に参加いただき誠にありがとうございました。又当日は熊本南 RAC から長谷川司さんと島崎 哲さんの 2 名も参加されました。コロナ禍の中での開催で親睦活動委員会の告坂委員長をはじめ委員の皆様大変お疲れさまでした。そして会場を提供していただきました徳永会員には心のこもった懐石料理とうなぎをごちそうさまでした。息子様と奥様によろしくお伝えしてください。

3 月 22 日に臨時理事会が開催されました。議題 1 は損害保険ジャパン株式会社熊本支店長の鬼木幹生会員の転勤による退会を承認して頂きました。鬼木さんには後任の方に入会して頂くよう依頼していますが、皆様方からも新支店長の入会依頼をお願いいたします。議題 2 は寿崎奨学会の寄付金についてでした。今年も昨年に引き続き会員からの徴収は無しで一般会計からの支出を承認して頂きました。

以上、会長報告です。

出席報告 (藤山直秀君)		
会員数	出席数	出席率
60名	39名	66.10%
出席規定適用免除者 2名	欠席記録免除者 1名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)		

例会変更のお知らせ

○りんどう RC～地区研修・協議会@オンラインに日程変更

[変更前] 4 月 15 日(木)13:00～

[変更前] 4 月 18 日(日)10:00～

○05福祉 RC～定款に基づき休業

[日 程] 4 月 27 日(火)12:30～

幹事報告 (丸山浩之君)

1. RI 第2720地区 硯川昭一ガバナーより「地区大会メイキャップのお取り扱いについて」が届いております。
2. 米山梅吉記念館より館報 Vol. 37が届いております。

3. 例会終了後「今年度 定例理事会」及び「次年度 臨時理事会」を開催いたします。関係各位はご参加をお願いいたします。

2020-21定例理事会報告 (河津延雄君)

1. 三好正太様の入会について⇒承認されました。
2. 池崎龍彦会員の退会について⇒承認されました。

2021-22臨時理事会報告 (玉田光識君)

1. 米軍音楽隊コンサートについて
⇒開催の方向で検討することが承認されました。
(詳細未定。会場やコロナの状況にて提案及び判断)

2021-22年度幹事報告 (馬場大介君)



皆さま、こんにちは。次年度各委員長予定者様に活動計画書提出のお願いをご案内しておりますが、提出期限が4/9 (金) までとなっております。また、クラブ協議会が4/26 (月) 開催予定ですので、ご多忙中恐れ入りますが期限内でのご提出をよろしくお願いいたします。

地区 RYLA 委員会報告 (網川 久君)



皆さま、こんにちは。地区 RYLA 委員会よりお願いです。ご案内しております RYLA セミナー受講者募集につきまして、坂本研一会員のご協力により1名参加登録をいただいておりますが、数名の追加参加者を募集します。新入社員や若手社員のよい学びの場になるかと思しますので、是非ご協力のほどよろしくお願いいたします。

委員会報告

●親睦活動委員会 (網川 久君)

[結婚祝]

- 園田修司君 4.1
- 喜讀宣友君 4.19
- 井上雅文君 4.23
- 谷口英樹君 4.23
- 漆島典和君 4.28
- 告坂和紀君 4.28
- 河津延雄君 4.30

[誕生祝]

- 山口 競君 4.5
- 木村 崇君 4.8
- 興梶一喜君 4.13
- 新田義正君 4.16
- 林田公治君 4.27



[結婚祝]



[誕生祝]

●スマイルボックス(桑原幸雄君)

○杉田 成様

本日はお招きいただきありがとうございます。杉田が「あた、ずうずうしかなあ！」と呆れていると思います。お役に立てる話ができるか心配ですが、きっと見守ってくれていると思っています。

○河津延雄君・後藤 博君・丸山浩之君・玉田光識君
森本康文君

当クラブへのご来訪者 杉田 成様を心より歓迎いたします。本日の卓話を大変楽しみにしています。また、木下貴夫会員の西部ガス熊本株式会社社長就任おめでとうございます。さらなる飛躍を祈念いたします。

○塚本 侃君

本日の卓話者 杉田 成様に心から感謝します。

○堀川貴史君

杉田 成様、ようこそ熊本南RC例会にお越しいただきました。お話をとても楽しみにしています。

○野口泰則君・沼野修一君

本日の卓話者 杉田 成様に心から感謝します。本日の卓話楽しみにしております。

○荻田俊郎君・高宮 宏君・久峨章義君・永井富士雄君
喜讀宣友君・倉寄保広君・園田修司君

本日の卓話者 杉田 成様に心から感謝します。亡き辰彦先輩共々、カッコいい生き方に憧れています。永遠の理想の夫婦です。本日の卓話楽しみにしています。

○坂本研一君・漆島典和君・北口 誠君・西川尚希君
告坂和紀君・三瀬広海君

本日の卓話者 杉田 成様に心から感謝します。昨夜は卓話が楽しみで全員眠れませんでした。本日はよろしく願いいたします。

○徳永隆正君 V

先日は花見の会に私の店をご利用いただき心から感謝申し上げます。本来なら出席してお礼を申し上げるべきでしたが、日曜日に体調を崩して現在入院中につきご容赦ください。

○告坂和紀君

3/29(月)に今年初の親睦行事を徳永会員のお店で執り行うことができました。熊本南 RAC 含め 36 名の方にご参加いただきありがとうございます。久々の親睦行事であつという間に時間が過ぎ楽しい時間となりました。次回は歳祝いの会を6月に予定しております。次回も多くの方に参加していただけるよう親睦活動委員会でしっかり準備を進めたいと思います。感謝のスマイルです。

●外部卓話(沼野修一君)

「コロナ禍の中で生きる」

杉田 成様



本日はお招きいただきありがとうございます。昨年来のコロナにより世界中が深い霧に包まれ、経済は疲弊、マスク姿にテレワークが続いています。責任あるお立場の皆さまのご苦勞はいかばかりかとお見舞い申し上げます。そして、これまでの普通の日常がいかにかに幸せだったかと感謝しているところでございます。この不要不急の外出自粛は私に十分な終活の時間を与えてくれました。結婚後、封をしたままの段ボールを処分することに。が、やっぱり開いて見てしまいました。自衛官として勤務した20年間の写真、資料は頑張った私の証でもあります。「卒寿を迎えた自分自身へのご褒美」として、昨年11月に小冊子として作成することができました。校正作業の中で若かった頃の私自身を再発見、コロナ禍で萎んでいた心にパワーを貰い元気を取り戻したような気がしています。人生は面白い、そして不思議なものですね。履歴を紹介していただきましたが、教員試験もクリア任地も決まっていたのに拒否しての上京、国立教育研究所の研究者として勤務することになりました。先般、森さん発言が大きなニュースとなりましたが、同年代の私からすれば「男女7歳にして・・・」の教育を受けてきた男性の意識を変えることより、そういう男性に「私自身をいかに認めさせるか」に努力したように思います。同期入所でも男性はすべて先生、女性は〇〇さん、勝気な私は彼らに「お願いします」「ありがとう」を言わせてみたい。当時女性の仕事ら

しい仕事は印刷、印刷室には簡単な印刷機から高等な技術を必要とする機械まで7台、ちょうど東京オリンピックの頃で日本が経済成長を続けていたとはいえ、エアコンなど想像だにできません。冬はオーバーを着て震えながら、夏は蒸し暑さに耐えながら7台すべてをマスター、大きな研究会用の資料をグラフの色も美しく刷り上げるベテラン印刷係に徹しました。1年後には他の研究室からも「お願いします」が来るようになり、会議に参加して「私の意見」を言える場面も増えてきました。女性が仕事、それも責任ある自分の意見を言うことのできる仕事をする事の難しさをつくづく考えさせられた時代でした。転勤で熊本に勤務、昼休みに何気なく開いた毎日新聞「婦人自衛官」誕生への記事が目飛び込んできました。そしてどこからか聞こえてきた不思議な声「お前の仕事だ、行きなさい！」全国10人の採用に必ず合格すると信じての27歳からの挑戦でした。「そもそも自衛官になった動機は？」インタビューのたびに聞かれました。終戦時の北朝鮮からの逃避行、西南戦争で西郷側で戦い牢死した祖父の血、とこに飾られた古い甲冑、そして男だったら「防大に行きたい」と思っていたこと等が根底にあったのかもしれませんが。また、男性と肩を並べて仕事ができるのではないかとその期待もありました。昭和43年3月、晴れて3等陸尉として制服を着ることができました。しかし国の政策としての制度発足でしたが、「女はいらない」が現実でした。希望を胸に入隊してきた1期生(18~25歳)55人の教官として基本課程修了と同時にこの55人を連れて熊本の健軍駐屯地に着任、いよいよ総務、会計、通信と職場での第一歩を踏み出しました。私の仕事は管理隊長、彼女たちの服務を見守り職場との連絡調整、一日中走り回っていたような気がします。各県1人10倍以上の倍率で入隊してきた彼女たち、しっかりと自立し積極性、責任感も強く、それぞれの職場で一步一步確実に大きな足跡を残してくれました。当初は「女は足手まといだ、大迷惑だが仕方ない」と受け入れてくれた職場でしたが、半年もするとうちの〇〇はと自慢されるほどにしっかりとその地位を確保していました。そんな彼女たちの28歳の私に対する欲求はただ一つ、「いつも尊敬できる女性であってほしい」一番難しい課題でした。でもこのことが以後の勤務の中で彼女たちは今の私を「尊敬します」と言ってくれるだろうかと自問自答しながら頑張ることができたと感謝しています。49年には海上自衛隊にも婦人自衛官制度を発足させることになり、転官して1等海尉として勤務することになりました。男性社会の中で制度をどう軌道に乗せるか、まさに産みの苦しみを育ての悩みをかみしめながら、しかし新しく創造するという大きな喜びもありまし

た。また、母からもらった2つの呪文「神様は乗り越えられない試練は与えられません」「何事も一つ一つの積み重ねでしか成りません」、辛くなるとこの呪文を唱えながら壁を乗り越えたように思います。また、6歳で経験した北朝鮮からの逃避行も大きな壁に突き当たった時、あの時よりは楽だと考えるに十分だったと思います。いつの頃からか「女のくせに」「女なんか」と言われることが、私には「ガンバレ、ガンバレ！」との応援歌になってきたように思います。63年に結婚、退職するまで20年間自衛官として楽しく勤務させていただきました。女性自衛官も発足50年を経過して、災害派遣のニュース等でも男性と区別なく作業している様子が映し出され、「女はいらない」と言われながら勤務した日々を懐かしく、現在の彼女たちの活躍をうれしく感じています。私ほどチャンスに恵まれた人間はいないと思うほど壁の向こうにはいつも素晴らしい世界が広がっていました。「あれは女か?」「零戦が来た!」と言われた私が結婚できたのも神様からのご褒美だったのではと思っています。小冊子を構成しながら私は主人はもとより、たくさんの方々の見守りの中で生かされているとの思いを強く感じました。温室の中で大事に大事に育てていただきました。また、今日ここに呼んでいただいて、主人のおかげと熊本南RCの皆さまの温かいお見守りを感じました。ありがとうございます。コロナ禍の中、私が育った戦中戦後を思い出しました。ただ、その頃は日本全体がゼロからの出発でした。大人も子供も自立して助け合い、次の世代へ誇れる日本を残したいとの思いが強かったように思います。今、70年以上続く平和の中で甘えが前に出ているように見えます。安定した生活を続けたい、国は助けてくれない、自分だけよければ・・・自殺、DV、いじめ等マイナスニュース、誰かの言葉じりを捕らえて全員でたたき、日本人の何でも是とする「おおらかさ」「やさしさ」といった心のゆとりが消えてしまっているようで残念に思っています。しかしながら、大災害の大変な中でお互いを助け合う姿は、戦後「こうりゃん」のお粥を食べながらそれすらも食することのできない人がいることに心を痛めた記憶と重なり救われています。若い世代がリモートを駆使して色々なことを発信し始めています。コロナ禍の経験を糧として大きく飛躍してくれると信じています。私は10年前に洗礼を受けマルタとして新しく誕生させていただきました。元気に生かされている今、まだお役に立てることがあるのではと思っています。まずは茶道教授として若い人に楽しく「お茶のこころ」を伝えていくこと、ソロプチミストとしての活動、教会を通じての奉仕を「日々是好日」の精神で歩いていきたいと思っています。